

16. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告致します.

● 2018 年度の第 11 回日本数学会季期研究所 (MSJ-SI) は, テーマを「偏微分方程式論における計量の役割 (The Role of Metrics in the Theory of Partial Differential Equations)」, 組織委員長を久保英夫氏 (北海道大学) として, 2018 年 7 月 2 日~13 日の日程で北海道大学において開催される予定です. 詳しくは, 以下のサイトをご覧ください.

<http://www.math.sci.hokudai.ac.jp/sympo/180702/index.html>

● 2017 年 11 月末日が締切であった MSJ-SI 2019 の公募に対し, 1 件の応募がありました. 審査の結果, 長田博文氏 (九州大学) を組織委員長とする「確率解析, 確率場と可積分確率 (Stochastic analysis, random fields and integrable probability)」が採択されました.

● 2020 年度 MSJ-SI テーマ公募について

2020 年度 MSJ-SI についてテーマ公募を開始します. 締め切りは **2018 年 5 月 31 日** です.

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます.

- ・数学会から 500 万円の助成金が提供されます.
- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者を, 数学会が招待します. (数学会理事会の担当)
- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行って頂きます.

応募される方は, 締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を学術委員長までお送りください. また, 下記メールアドレスへの事前の問い合

わせも歓迎いたします.

送付先: 日本数学会学術委員会委員長
杉本 充

電子メール: [sugimoto\(at\)math.nagoya-u.ac.jp](mailto:sugimoto(at)math.nagoya-u.ac.jp)

郵便: 〒464-8602 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院多元数理科学研究科

詳細については, 前号に掲載の公募要領を参照して下さい.

(学術委員長 杉本充 記)